



鐙島小だより

令和7年10月31日

校長 野口 典弘

第7号



<http://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1510036>



イナズマはなぜ稲妻？

日本語は、音だけを表す「ひらがな」「カタカナ」の文字と、意味を含んだ「漢字」の文字が同列に使われている稀有な言語です。国語について深く勉強したことはないのですが、そんな日本語の音と意味の関係から子どもとの関わり方について考えてみようと思います。

3・4年生の総合的な学習の時間で、焼き芋づくりの指導に来てくださった名ヶ山の小海さんとお米の無農薬・無肥料農法について話をしていた時です。「夏に雷がたくさん鳴る年は豊作になると昔から言われているのです。」とお聞きしました。「どうして雷が豊作になるのですか。」と問うと、次のように教えてくださいました。「空気中には窒素がたくさんあります。窒素は農作物にとって大切な栄養分ですが、そのままでは栄養分になることはありません。雷はすごいエネルギーを持っていて、空気中の窒素を雨の中に固定化してくれて、窒素と雨が一緒に落ちてくるのです。昔の農民は、その水を田んぼからすぐに流さないで取っておきました。栄養分がたくさん入っている雨ということを誰が研究したわけでもないのですが経験から学び取っていたのです。」なるほど、雷は稲にとって配偶者に当たるとても大切なものとして大切にされていたのですね。だから「稲妻（イナズマ）」。雷も雷様とご丁寧に「様」付けされることもあります。その昔、ザ・ドリフターズの高木ブーさんが演じていたあの雷様が米の豊作に一役買っていたなんてびっくりしました。

このように「雷」が「稲妻」とも呼ばれる理由は、漢字の意味に表れています。

子どもたちとの教育活動で、音から入る活動はたくさんあります。例えば「あいさつ運動」や「合唱練習」。しかし、その後には、必ず意味を考える過程が必要です。「いただきます」「ごちそうさま」「おはようございます」「さようなら」など、どんな意味が込められているのか。合唱では歌詞の奥にある意味を知ることが、心に響く合唱にするカギだそうです。

日本語の音は、世の中の出来事でいえば表面に見えたり聞こえたり触れたりするものです。日本語の意味は、世の中の出来事でいえばその奥にある本質です。見えたり聞こえたりするところも大切なのですが、物事の本質に当たる意味を子どもたちと一緒に考えたいと思います。家庭・地域・学校で力を合わせて物事の持つ意味について子どもと共に考えていきましょう。

3・4年 焼き芋体験



鑑島・吉田 合同遠足 to めごらんど



お弁当を作ってくれてありがとう



ふわふわドーム大好き！

10月3日（金）
に歩いてきました。
片道5.5km
往復11kmの道
のりでした。

めごらんどでは、学年
ごとに吉田小との交流
遊びが行われました。



秋のあいさつ運動

春と同様に秋の
あいさつ運動を
実施しました。
吉田中との連携
がこの活動のポ
イントです。



秋のマラソン大会

10月9日（木）一人一人
が全力を出し切ることがで
きました。6年生のマラソ
ン大会はこれが最後。冬の
クロカンスキーに向けて体
力がついてきています。



クマ被害にあわないためにできること

- ① クマの出没が確認されている場所には、
近づかない
 - ② 単独行動を避ける
 - ③ 外出する際は、音の鳴るものを携行する
 - ④ 人家周辺に生ごみ等の誘引物を置かない
- ※ 学校では、ランドセルにクマ鈴を付け
登下校をしています

▲ クマ出没特別警報発表中 ▲

